

# 先端的技術でアジアの環境負荷低減に貢献 ～現地ニーズに対応した手作り提案で躍進する鈴木産業株式会社～

担当課室：国際課

近畿経済産業局は、2008年11月に設立した「関西・アジア 環境・省エネビジネス交流促進フォーラム (Team E-Kansai)」の事務局として、関西の環境・省エネ関連企業のアジアでのビジネス展開を支援しています。今回は、これまで Team E-Kansai の活動に積極的に参加し、アジアでの実績を上げている「鈴木産業株式会社」をご紹介します。

## ■研究開発型企业としての強み

鈴木産業株式会社は、バイオテクノロジーと環境エンジニアリングを併せ持つ研究開発型企业として、現場のニーズに対応した様々な技術開発を行ってきました。同社は、これまで京都府中小企業創造化法の認定及び財団法人京都産業技術振興財団からの投資を受け、また、“京都市 VC プランオスカー賞”を受賞しております。さらに、当省や中小企業総合事業団あるいは独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 等からの補助金や海外への技術移転・委託研究開発等の助成を受け、独創的な商品開発と環境技術の構築を行ってきました。例えば、バイオテクノロジーを活用した環境にやさしいノンスラッジ排水処理システムの研究開発では、京都大学大学院微生物工学科との産学連携事業として、京大桂ベンチャープラザ内の研究室を拠点に有用菌群によるバイオテクノロジーを活用した高速酸化バイオ処理法と高効率な散気管 (エアレーター S1) との組み合わせにより、高効率な処理の実現と省エネ等による大幅なコスト削減を同時に達成しました。

## ■現場指導と提案型のビジネス展開

同社の特徴として、まず、工場排水の現場経験の豊富なバイオドクターが、工場からの原水内容の分析、BOD・COD・ORP・DO・各種窒素・リン等の測定による各槽での処理能力の数値化、生物顕微鏡による菌群のチェック等を現場で行うと同時に、現場担当者に対し、状況の変化を早急に把握し対応するための技術指導・移転を行います。また、設備の引渡後も、排水量・COD・DO・PH・SV30 (菌写真) 等の日常取得データを客先からメールで送付して貰い、処理状況の安定化のための指導を行っています。さらに、有用菌群のスクリーニングと培養菌群による立上げ、活性剤による増殖と安定化、流動担体による処理効果の向上と窒素処理等のトータルシステムを用いた提案を得意としています。

## ■タイでのビジネス展開

同社のアジアへのビジネス展開は、Team E-Kansai として初の海外展示会出展事業となる2009年のタイの「ENTECH POLLUTEC ASIA」にはじまります。地元の環境エンジニア会社や食品工場等との面談の中で、環境改善や省エネ化等、長年日本で培ってきた現場での技術やノウハウを組み合わせた高付加価値の提案を行い、現地ニーズに対応したシステムとして高い評価を得ました。その後、独創性の高い製品群とタイでの現地生産による採算コストを意識した安価なシステムを武器に、現地の業界のトップ企業への納入が始まりました。同社の製品は、「現場の感覚」を重視した1社毎の手作り提案で対応しています。

## タイでの導入実績



H22年 タイハジャイ  
CMCツナ缶詰工場



H23年 タイチョンブリ  
AMATA CITY 工業団地



H24年 タイラヨン  
インド ADITYA BIRLA  
エポキシ工場

### ■タイから周辺国へのビジネスの拡大

タイでの生産拠点を確立するとともに、現地パートナーとともに、現在、ミャンマー・マレーシア・インド・バングラデシュ・ベトナム等へのビジネスの拡大が進んでいます。

- ・ インド ADITYA BIRLA (インド最大企業)  
エポキシ樹脂新設排水装置
- ・ マレーシア SIME DARBY (マレーシア最大企業)  
サバ州パームオイル排水装置
- ・ タイ Waste Management Siam
- ・ ミャンマー DAGON BREWERY



DAGON BREWERY ビール工場排水

### ■環境問題を多く抱えた最貧国への環境技術の提供

同社が最近ビジネス展開しているミャンマーやバングラデシュ等の最貧国では、工場からの排水は殆どが垂れ流しの状態となっているが、十分な資金がなく、排水対策が進んでいないとのことです。このような最貧国では、日本からの環境技術援助が求められていますが、現地のニーズに適した技術移転を迅速に行うためには、中小企業が活躍できる場が多くある一方で、こうした国々では、中国から進出してきている環境企業から安価で低品質な製品の拡販が始まって、市場を押しやる勢いであり、日本と現地との技術・情報・販売のネットワークの構築が急務であると同社は指摘しています。

アジアでは、経済成長に伴う環境対策の必要性がますます高まる中、環境マーケットが急速に拡大していますが、我が国の中小企業等がこれまで培ってきた技術やノウハウを活かすためには、現地のニーズに適した技術やシステムの開発、あるいはノウハウの提供が求められ、同社の取り組みはそのモデル的事例と言えるでしょう。

企業名：鈴木産業株式会社  
U R L：<http://www.mmm.ne.jp/~suzukisa>  
所在地：京都市西京区山田中吉見町5-6  
電話番号：075-392-7577